

# カリキュラム

機構施設名： 岡山職業能力開発促進センター  
 実施機関名： 株式会社SWITCH WORKS

<b>B. 組織マネジメント</b>	<b>現場社員のための組織行動力向上</b>
<b>組織力強化</b>	

<b>到達目標</b>	企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見、業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得する。
-------------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
指導内容	1 企業組織と生産活動	(1) 企業経営の仕組み > 目的と目標とはなにか (目的と目標の定義を理解する。) > 会社の目的と目標について考える (自身の会社・部署において最も重要な目的と目標は何か？を思案する。) (2) 生産活動の目的と目標 > 自身に求められる組織での役割(目的・目標)の検討 (自身は、上司・部下視点で物事を考えたときに、どのような役割が求められているのか？を自己理解。) > 分業制とは (仕事で成果を出すために必要な分業制。なぜ分業だと成果につながるのかを理解する。) (3) 経営者の視点とコスト感覚 > P/L要素(売上・原価・粗利・営業利益)の理解 (仕事を取り組むにあたって、企業活動に必要なものは売上だけでなくコストもある。仕事においてコストとはどのようなものがあるのかを理解する。) > 経営感覚という視点に立つ (経営者視点に立ち、自社を俯瞰的にとらえ、何が強み・弱みなのか？またその解決策について検討をする。)	1.5
	2 状況変化に対応する現場力	(1) 現場力を高めるための要素 > 現場に必要な業務知識と基礎能力の理解 (自身の現場で必要な成果を出すための業務知識と基礎能力のコンピテンシーを把握する。) > 安全・安心・5Sの理解 (現場で安全・安心に業務を遂行するために必要な5S・仕事の5Sを理解し、実施できているかどうかセルフチェックを実施。) (2) 現場の問題発見と改善姿勢 > 現場のあるべき姿と照らし合わせて問題を考える (私達が普段仕事で毎日接している問題と課題。そもそも問題と課題とはどのようなものなのか？の定義を理解する。) > 問題発見技法、改善のために必要な取り組み姿 (現場のあるべき姿と照らし合わせて問題を洗い出すワークセッションの実施。) (3) 専門性向上の必要性 > これからの将来(近未来)を見据えたときに必要な専門知識とはなにか (資格などに代表される専門知識。これからの会社の将来を見据えたときに、どのような専門知識を自身は有しておかなくてはならないか。自身の役割も踏まえ検討する。)	2.25
	3 フォロワーシップと組織行動力	(1) フォロワーシップとは > リーダーシップとフォロワーシップの違い (リーダーシップの機能とフォロワーシップの機能の違いとは？特にリーダーを補佐するフォロワーとしての役割を理解する。) > フォロワーシップがもたらす組織への影響 (フォロワーが組織にいないのは、成果に大きな差が生まれてくる。フォロワーとしての行動のチェックを実施。) (2) 組織行動力に直結するフォロワーとしての役割 > 今、自分が求められる役割 (具体的に現場でどのようなことが求められるのかをワークセッションを通して学ぶ。) (3) 管理者への提案方法 > 提言(進言)をするということが組織に与える影響 (上司との関わりの中で具体的に提言(進言)することの意味ややり方をケーススタディを通して学び、実際に提言する内容を思案する。)	2.25
合計時間			6.0

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
なし	ノートパソコン プロジェクター
●テキスト	●その他
自作テキスト	模造紙・付箋・サインペン